

郷土に力を! !!

○南房総市・安房郡特集○

木下けいじ 県議

安房地域から県政に新風！



総務常任委員会で委員長として質疑を仕切る木下県議

住民の声を生かして県政改革を」と、木下敬二（きした・けいじ）県議は、地域優先の姿勢を明確に、常に県南地域の諸課題を県議会で取り上げています。農村部で被害が拡大している有害鳥獣対策のほか、自立した漁協経営へ向け、繰越欠損金処理への県の支援策などを一貫して主張しています。ほかにも農漁村の担い手対策、教育問題、高齢者・福祉対策、地域の道路問題など南房総の地域振興策を訴え続けています。

農林水産部長 塚では
獣友会など関係団体を構成員に千葉県野生鳥獣対策本部を設置し、被害軽減のための研究や支援を行っています。今年度は、森林と農地の境界にある林縁部が野生動物の繁殖地やエサ場になつていると考えられることから、その管理方法と野生動物の行動の研究に取り組んでいます。県としては

農林水産部長 講員ご指摘のように、多くの漁協が繰越欠損金や不良債権などを抱えており、全国の漁協も同様です。国も経営不振漁協対策として新たな総合的漁協対策を示しています。県内でも県漁連が中心となり、組織再編を含めた総合的な対策に取り組むため、ジェイエフ経営指導千葉県委員会を設

態に応じた適切な教育を受けられるよう努めなければなりません。障害のある児童生徒数が増加している中で、県南部の特別支援学校に関する課題と対策はどうか。

PROFILE

た
鴨川市の協力により
安房特別支援学校の分教室
を鴨川小学校に設置し、同
地区における長時間通学の
解消に努めているところで
す。引き続き検討しております。

有害鳥獣被害は深刻

木下議員 安房地域の農業問題について、特に有害鳥獣対策ですが、農作物の被害金額は1億3千万円近くに達し、実際にはもつと多いと思われ、深刻な問題になっています。防護柵の設

簡易で有効な有害鳥獣対策の研究を進めるとともに、効果的な防護柵の設置や捕獲の推進などの取り組みを通じて支援強化に努めています。

とイノシシの生態との関係を調査しているところです。今後とも有効な防護柵の設置方法や捕獲方法の検討を進めてまいります。

特別支援学校の過密化

特別支援学校の過密化

この問題に積極的に取り
んでまいります。



やっしき保存会のみなさんと

地域の声を県政へ

●県政や南房総市・安房郡のご相談をお寄せください……
木下けいじ 県議事務所 〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1
TEL.0470(44)4111 FAX.0470(44)4112

HP主-監督室 | 檢索 | 完成白皮書 | 論壇日記 | 個議會議員 | 主題檢索 | 中西語